

サッカー留学記

From スペイン

サッカー留学最終日を迎えました。スペインでの3週間はあっという間でしたが、短い期間でたくさんのごことを吸収できたと思います。指導者を目指すための大きな一歩となりました。

スペインの選手は意思表示がはっきりとしています。選手との距離感、どのような雰囲気練習させるかなど、スペインの監督、コーチからはたくさん学ぶことができました。

プレーヤーとしても学んだことは多く、足元の技術や体の使い方、気持ちの持ちようなど自分たちに足りないものを感じ取ることができました。日本とスベ

あっという間の3週間

指導者目指す一歩に

⑦・完



スペイン留学でお世話になった方々と一緒に

ンの良さ、悪さを把握することができたので、これら今後にしっかりとつなげたいです。

また今回の留学では、ス

ペインで働いている、留学している日本人と食事をしてお話を聞く機会が多々ありました。海外で活躍する

は、高い目標を持ち、何事にも動じず、ぶれない強い意志を持つことが大切だという点です。

今回このような機会を与えてくれたコーチ、監督、両親に感謝したいです。また最後まで留学をサポートしていただいたアマネセー代表取締役の佐藤陽介さん、ホームステイ先のダニエルさん、典子さんをはじめめとする多くの方々、どうもありがとうございました。

日本に戻ってから、スペインでの経験を生かして日々成長していきたいです。

3週間、連載をお読みくださりありがとうございました。また、良い活躍を報告できるよう頑張ります。

(八戸学院大女子サッカー部・妻神和、田中美貴)